

ユニークな知性光る

東京コレクション

思索の果てにだざり着いた美しいチガイン。翌日まで開かれた東京コレクションでは、チアの設定やトレンド要素の解釈に、ユニークな知性を感

じさせるフックが輝いた。

進撃しヤストン・エが出展したようにも思え

「エ」は今回、「チガイン」の中で、「現代的なクラフ

は何か」を過去にさかのぼ

って考え、米国の「チーム

ズハウス」に着想を得た。俊は語った。

1949年、大量生産され

た建築資材を組み合わせ、

ロサンゼルスに建てられた

モダニ建築だ。

建築から着想

その着想ならい、さま

ざまな色やモチーフを組み

合わせた服は独創的で、可

愛らしい。チガインの要素

や、暗闇の中のフラッシュ。いつるな光を表現したか

った」と吉田多恵。ピカピ

カではない品のある光沢

を、上質な服の中に取り込

んだ。

サポートサーフェス(研

壁宣男)は「天衣無縫」を

チアに、「最初からクラ

フは「現代のクラフ

なる運命だったような完

成」を指摘した。紳士服の

要素に、背中クラフなど

で女性らしさを加えた安定

感あるチガインだ。

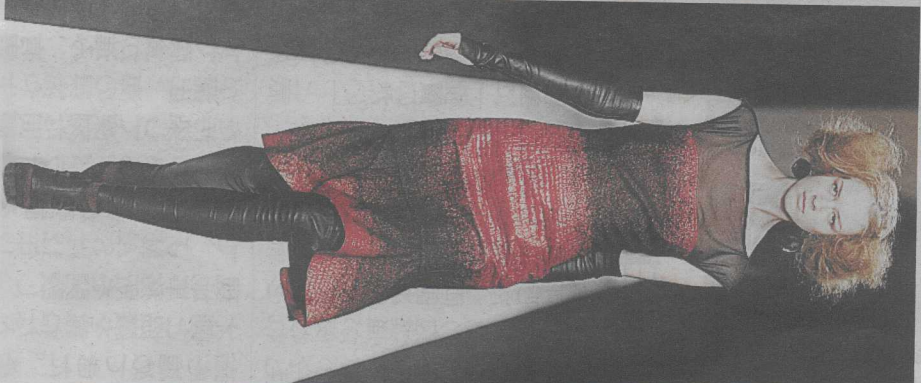
「モトナリ・オノ(小野原

誠)は、スपोर्टイ」など

モダニ建築だ。



ヤストン・エズミ



タエ・アシタ



サポートサーフェス